



国際ロータリー2630地区

名張ロータリークラブ

2025~2026

- 会長 小川 貴司
- 会長 エレクト 藤森 至
- 副会長 宮尾 保範
- 幹事 坂本 幸嗣
- 管理・親睦運営委員長 今中 武美
- 広報・会報委員長 丹下 剛一

UNITE FOR GOOD

よいことのために
手を取りあおう

○例会場

名張市南町822-2 名張産業振興センター(アスピア)
TEL 0595-64-5353

○事務局

〒518-0729 名張市南町822-2
名張産業振興センター4F
TEL 0595-63-1338 FAX 0595-63-8163
月~木曜日 10時~15時(休憩12~13時)
E-mail nabarirc@e-net.or.jp

第 2826 回例会

9月1日(月)12:30 点鐘

本日のプログラム

- 【総合司会】宮尾 保範 副会長
- 【ソング】君が代 四つのテスト
- 【行事】誕生日、結婚記念日お祝い
- 【次回のお知らせ】
9/8(月)第2827回例会 ガバナー公式訪問 4クラブ合同例会

前例会の記録

第 2825 回例会

8月25日(月)12:30 点鐘

- 【出席報告】 大藪君
- ゲスト
名張警察署長 安達一人 様
青少年交換夏期派遣内定学生
高尾愛生 様(三重県立名張高等学校) お母様 高尾千佳 様
- ビジター 上野RC 稲濱建夫様
- 出席報告
会員数 42名 欠席人数 7名
出席人数 35名
出席免除者 2名
事前メーキャップ 1名
出席率 90.00%
- 8/4(月)の出席率は 90.00%
訂正なしです。
- 家庭集会の報告
8/21(木) リーダー:大藪
参加者:中島、志浦、廣瀬、玉田
話題:家庭集会の意義や目的、カウンセラー制度創設について

◆例会予定

- 9/8(月)第2827回例会 ガバナー公式訪問 4クラブ合同例会
- 9/15(月)法定休会(山の日)
- 9/24(水)第2828回例会 名張中央RCとの合同例会 18:30~
- 9/29(月)第2829回例会 米山月間を控えて

◆地区の予定

- 9/7(日)米山記念奨学委員会 カウンセラー研修会及び中間報告会

◆家庭集会の予定

月/日	当番リーダー	メンバー
9/11	福本	川口 隠地 的場 典中
9/25	遠山	前田 杉本 三枝 幸松

◆その他

- 9月度理事会 9/1(月)11時00分~

◆9月のお祝い

- 会員誕生日: 志浦 典中 藤森
- パートナー誕生日: 奥田雪子 奥中ひろ子 山内愛 瓦井正宏
- 結婚記念日: 杉本 遠山 隠地 幸松 脇坂 玉田

【会長の時間】小川会長

予定しておりました8/23(土)の「星空観察会」は曇り空の為に中止になりました。仕切り直して開催したいと思います。その節は宜しくお願い致します。又、23日(土)は二十四節気の「処暑しょしょ」で、暑さが少し和らぐ頃なんです但实际上は中々そうはいかんようです。

今日は複数のゲストをお招きしておりまして、スケジュールが立て込んでおります。会長の時間もタイトで、次週のさわりをお話して終わりたいと思います。本日、ゲストスピーカの名張警察署署長 安達一人様、月曜日の何

かのご多用のところを曲げてご臨席賜り又、日頃は私たち市民の安心・安全の為にご尽力頂き、重ねてお礼申し上げます。そしてこの度、ロータリークラブの「青少年交換留学生 2026-27 夏期派遣候補学生」にめでたく選ばれました市内赤目町在住の県立名張高等学校一年の高尾愛生(たかお めい)さん、お母様の高尾千佳(たかお ちか)様ようこそお越し頂きました。

さて、来週は1888年(明治21)7月10日生まれの社会活動家・牧師、賀川豊彦(かがわ とよひこ)氏について話します。賀川氏は奥さん(ハル)と共に一生を慈善事業に捧げられ、戦前キリスト教の博愛の精神を実践して「貧民街の聖者」として当時のスーパーヒーローだった人です。たまたま誕生日が私と一緒に、ただのおっさんである私とは“雲泥の差”でございませぬ。会長の時間を終わります。



【幹事報告】 お知らせ ・11/8(土)に東京・市ヶ谷の日本棋院本院にて「第23回ロータリー全国囲碁大会」が開催されます。詳細は事務局まで ・9/1は年会費第2期分の徴収日です。

家庭集会 なし

他クラブ例会の変更 事務局にてご確認ください

名張中央ロータリークラブ 9/10(火) 9/8(月)ガバナー公式訪問 4クラブ合同例会 ビジター受付はございません。

卓話 名張警察署長 安達一人様

今日は犯罪情勢と組織運営についてのお話になります。日頃から警察行政に対するご理解ご協力ありがとうございます。この場をお借りしましてお礼申し上げます。なお警察組織は営利企業ではございませんので、皆様とは若干違う所がございますが、警察組織というものをご理解頂ければと思います。

まずは管内含めて、特殊詐欺は増加傾向にあり、中でも警察官を語るケースが多いですが、スマホで警察手帳や逮捕状を見せることは絶対にあり得ないので詐欺だと思ってください。このことを知っていれば被害にあうことも無いと思います。

次に名張警察署の組織についてですが、署長、副署長、その下に警部課・留置管理課・会計課・生活安全課・地域課・刑事課・交通課・警備課の8課により形成されています。

組織運営について、1つ目は県民のための警察であることを署員に徹底させております。署員が県民のために安全安心を守っており、それが責務であることを徹底させております。要は、県民の立場に立って真摯に対応することです。県民の方が警察署に来ることは稀です。多くの方がよっぽどの理由があって来署されるケースが多く、警察を頼って話をしにきている場合が主です。なのに、対応した署員が不適切な対応をしてしまうと、名張警察署全員が同じように見られてしまいます。たった一人の不適切な対応が組織としてはマイナスイメージとなってしまいます。警察学校で何度か教養を受けていますが、何年か経過してしまうと初心を忘れてしまいます。そのあたりは機会があれば指示をしているところであります。また現場の対応には経験が必要です。若手には上司の良い対応状況を真似してもらおうと共に、悪い見本は真似しないようにしてほしいと思います。ただ、教えられることばかりではないので、自分で吸収してもらえない場合もあります。

2つ目は「働きやすい職場環境」の構築です。課も多く業務も複雑化している中、限られた人員で対処していかなくてはなりません。男性でも育児休暇や介護等に参加し、両立してもらう必要があります。そのためにも勤務実態を把握し、働きやすい職場になっているかどうかを確認する必要があります。毎日、署員の顔色を見ることで、疲れていないか？悩んでいないか？を見るようにもしています。また、声掛けをしたりもしています。家庭も仕事も、一方だけができてはだめです。仕事は責任感を持ち、やりがいも感じてもらい、また家庭についても大事にしてもらい良い仕事をして欲しいと思っています。そのような職場は活気があると思います。なお何か事件事故があった場合には、課の枠を超えて一致団結して対応することも命じています。お互いの課が、尊重し合い、業務の内容を理解し、助け合っていくことが大事だと思います。自分が若い時にも上司からそのことを教えてもらい、今では自分が実践しています。実際には私が皆から助けてもらうことの方が多いと思います。他には仕事の内容からストレスや悩みを抱えている署員がいます。何が原因でストレスや悩みとなっているのか？仕事か家庭なのか？それらのストレスをどのように改善し、また発散させるか。これらも職場環境の悪化の一因となっていきます。なお各種のハラスメント行為も絶対にだめなことです。これも職場環境を悪くさせると思います。働きやすい職場環境を構築していくため、幹部が考え実行していくことは私を含めた幹部の役割であると肝に銘じ日々取り組んでいます。

3つ目は業務の合理化・効率化についてです。今までのやり方では複雑多様化する犯罪には対応できません。良いところは今まで通り継承していけば良いと思いますが、合理化できることは合理化し効率化すべきだと思います。それこそ、限られた人員しかおりません。特に若い方は、自分に無い考えを持っています。合理化について良い案や改善は出てきません。課内の意見をとりまとめて進めるようになれば、おのずと合理化や効率化が生まれてくると思います。前例踏襲では新たな発見はありません。限られた人員、時間でやるためにも無駄があれば省き、これが必要であればもっと良い方法が無いかと考える力を身につけてもらいたいと思います。幹部の考えを押し付けるだけでは、やらされていると思うだけです。署員自らが、考えて動くことが大事だと思っています。

4つ目はメリハリのある組織運営です。ただだら仕事をするということはダメです。それこそ合理化・効率化により業務を進めさせることが必要です。ただし警察は特殊であるため、いつ何時事件事故が発生するか分かりません。発生した時、休みだからと言ってやらない訳にはいきません。実際、休日に事件が発生し、出勤勤務してもらうこともあります。申し訳ないと感じつつ、事件に待たはなりません。その代わりに、方向性が決まったり、配置員が上手く回せるようであれば、順次休暇を取得させる措置を講じています。警察官であっても、休日無しでは仕事に対する意欲も無くなります。逆に頭の回転も悪くなり悪循環となっていきます。幹部が部下の勤務実態を把握し、メリハリのある勤務をさせる必要があると思います。なお部下は自分から休ませて欲しいと言にくいと思います。そうでなければ仕事に対するモチベーションも下がればなしになります。休日や時間外に出勤してくれた部下があれば、把握するとともに労いの言葉をかけることも大事だと思います。だからと言って、幹部自らが時間外や休日出勤することは、もってのほかです。そのような幹部では部下も付いてきません。幹部自ら、メリハリのある勤務に心掛けることが重要だと思います。

5つ目は、結果は後からついてくると思います。警察は県民が事件事故に巻き込まれないような防止対策や、発生した場合には検挙することが仕事です。現在特殊詐欺等の事件が増加しています。防止対策を色々考えて実施していますが、根本的な対策には至っていません。ただ結果が出ないから、もうやめたではダメだと思います。ダメなら次はこのようにしよう。これはどうかと考え、諦めずにやるのが大事だと思います。飲酒取締りにいたってもそうです、未だに飲酒による交通事故が発生しています。飲酒取締りを継続することにより、名張ではよく取締をしている。飲酒運転はやめようとなったらえれば効果となります。すぐに結果が出るものもあれば、



特殊詐欺や飲酒運転のように地道に継続してやらなければならないものもあります。幹部が意識をさせる必要があります。部下が一生懸命やっていれば、褒めてあげることが重要です。至急に対応しなければならない案件もあるので、そこを見極め誤ることのないよう、その都度必要な助言をすることも幹部の役目だと思います。

6つ目は健康管理についてです。警察だけではなく、仕事をする以上健康でなければなりません。健康を害することで仕事だけでなく、家族にも迷惑をかけることとなります。自身でも心筋梗塞の経験があり、死を覚悟した経験がありました。自分で解釈して病院に行かずに、出勤した際に上司に報告したところお叱りを受けました。すぐに病院に行けと。そして即入院でした。そして手術も受けました。一歩間違えれば大変なところでした。今では本当に上司に感謝しています。そのことから、部下に対しては体調の悪い時には休むこと、また健康診断で二次検査が必要だと言われた際には必ず受診するようにさせています。簡単に考えていると、自分と同じように大変な結果を招くこととなります。ただ日頃から、暴飲暴食・運動不足・不摂生することが無いようにしてもらうことは当たり前前の話であります。病気になるって初めて、今までの生活習慣がいけなかったことに気が付きました。日々、健康が当たり前と思っていたことは、当たり前で無かったと気付きました。健康管理に関してはこれからも部下に対し、口酸っぱく言っていきたいと思えます。

7つ目は受傷事故防止対策です。事案対応の中には刃物等の危険物の対応や、交通事故の規制中での対応等、常に危険と隣り合わせの場合があります。大丈夫だろうという安易な考えではなく、何が起こるか分からないと常に考えさせることが大事です。今までなかったから、絶対に無いということはありません。あらゆる想定をし、望んでもらう必要があります。万が一、受傷事故が起これば、組織へのダメージも大きく、署員の職務執行の対応にも支障を及ぼすこととなります。自分の身を守ることも必要です。過信せずに日頃から訓練しておくこと、勤務時間を無事に過ごすことが当たり前の姿です。幹部が受傷事故の防止対策を講じ、今後も署員に怪我をさせないようにすることが幹部の役割です。

最後になりますが、私の考えるリーダー像は署長が変わっても違和感を感じさせることなく、署員全員が一丸となって対応できるようなチーム作りが大事だと考えます。自分一人だけでは成し遂げられません。自分は完璧ではありません。皆が前を向き、自分で考えて動けるように。そうなればチームとして力を発揮します。それぞれがレベルアップし、融合し、1つのチームである警察署が出来上がれば、うまく機能すると思います。最後の決断・決定は私の責任です。ただ決断の為には、それなりの説明も重要です。ワンマンでは無く、副署長とも連携しまとめていく必要があります。部下は上司を数日で見抜き、上司が部下を理解するには数年かかると言われています。そのため、相談されやすい雰囲気を作る、異なる意見や価値観をできるだけ取り入れる、コミュニケーションを取る等、気にしなくてはいけぬ点は多くあります。何が正解かは分かりませんが、署員各自の能力を底上げし、まとめていきたいと思えます。部下を信じ、また部下が私を信じ、ついてきてくれるようなリーダーになりたいと思えます。今後も署員一丸となって、管内の治安維持に取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願いたします。

青少年交換夏期派遣内定学生 三重県立名張高等学校一年の高尾愛生です。

まずは内定をくださりありがとうございます。私が留学に挑戦しようと思ったきっかけは、大きな困難に向かって一生懸命努力をし、何かを掴み取るような経験がしたいと以前から考えていたからです。そんな時に高校に留学生募集のお知らせがあり、先生から「こんなチャンスは二度とないぞ」と肩を押され挑戦する事を決めました。また先日岐阜でのロータリーの集会で留学から帰ってきた先輩方の話を聞き、留学とは自分自身の学びの場だけでなく国際親善の役割も果たすのだなと感じました。私一人の力は小さいものかもしれませんが、私の留学先の人達に少しでも日本という国に親しみをもってもらえるよう、また私も留学先の国に親しみをもてるような、そんな繋がりを作る役目も留学では果たしたいと思っています。これからは支えてくださっているロータリークラブの皆様や家族の期待に応えられるよう努力していきますのでこれからもご支援よろしくお願いたします。



8月総評 浅津会場監督

警察署長の卓話、まるで経営セミナーのようで非常に参考になりました。4日の例会では準備不足のため、例会時間をオーバーしましたが本日は改善できました。今後もスムーズな例会運営にご協力ください。前回の井上君による卓話も、ロータリーの歴史と精神についてのテーマで非常によく勉強された内容になっており、新たな学びも多く再確認もできました。ありがとうございました。

【ニコニコBOX】本日の合計金額 36,000円

○ひさしぶりにおじゃまします。 稲濱様

○名張警察署長安達一人様交換留学生高尾愛生(めい)さん高尾千佳様をお迎えした喜び 小川会長

○安達様お忙しい中卓話ありがとうございます。留学生高尾めい様お母様ようこそいらっしやい。ピジター稲濱様を迎えた喜び 坂本幹事

○署長いらっしやい 三枝君

○・署長いらっしやい ・高尾さんいらっしやい 亀井君

○大薮君家庭集会ありがとう 中島君 玉田君

○星空観察会中止で残念でした。また企画してください。安達署長本日楽しみにしております。稲濱さんいらっしやい 勝木君
○卓話楽しみにしています。 中森君 福本君 浅津君 城山君 的場君
川口君 井上君 奥中君 奥田君 廣瀬君 廣野君 志浦君 三木君 山本君
杉本君 丹下君 瓦井君 隠地君 脇坂君 遠山君
大藪君 小川君 梅澤君 岩見君 富永君
○長期欠席のお詫び 山内君



会員コラム

『雑学』 三大友人（医師・弁護士・証券人）と米国で言われている中の一人としていろいろ学びました。

・お茶のルーツ

南北朝時代、闘茶として始まり 京都梅尾産を本茶として、以外は非茶として当てるゲームで景品を沢山並べての賭茶でした。ブームが去った後 書院の茶、そして今日の侘び茶へと村田珠光です。珠光は一休宗純に参禅し四畳半の茶室を創案し新しい茶会の様式を作り上げました。最終的には千利休によって大成されて今日に伝えています。

・御釈迦様の一つだけのケチの教えです。

顔施 = 何時もニコニコしなさい。 日施 = いつのひもなごやかに 心施 = 真心で人に接しなさい。

言葉施 = いい言葉珠光 床座施 = 他人に座を譲りなさい 房舎施 = 自分の住を掃除しなさい

七つともお金はいりません。雑学はいろいろ人生を楽しくさせてくれます。

水団(とん)の 昼餉で偲ぶ 終戦日

勝紀